

この子の手術・治療の資金にご協力おねがいします。

生きていたくて、
カラダが冷たくな
くなってきても、
ずっと ずっと
なき続けて助けを
よんだの

今は、手術をうけ
る体力がもどるま
で入院中。



募金の
お願い

2月21日に、奈良地区センター裏で保護した推定1歳の雄猫

●手術の費用

入院検査 5 万円＋手術に 5 万円
=10 万円

※その他で必要な五万円超は個人負担中



●お問い合わせ先

meawmeawcat@hotmail.com タメノ

●必要な手術・治療内容

- ① 右前足の指三本の切断
- ② 右後足の内股の 15 センチはがれた皮膚の縫合
- ③ 左の下あごからノドにかけての皮膚の縫合
- ④ その他の傷(左前足、首に数個、左上のアゴ)の処置と消毒、抗生物質の投与

みなさんのご支援・ご協力をおねがいします。

◆保護の経緯

2月21日、横浜市青葉区奈良地区センターの裏手の道で、衰弱した仔猫が倒れているとの連絡を受け、私が救助し動物病院へ運びました。

真冬の雨上がりの冷たいアスファルトの上に、血と泥と草と膿にまみれて冷たくなって横たわっており、強い腐臭の中ひん死の状態でした。

極度の脱水と栄養失調、体温計で測れないほどの低体温状態で発見されたこの子(三歳の娘がシロと名付けました)は、発見時はもうおそらく助からないだろうというほどの危篤状態でしたが、もうろうとする意識の中で懸命になき続ける姿に私が励まされ、病院に運びました。

発見から30分後、獣医の先生とスタッフの懸命な処置により奇跡的に持ち直しました。入院4日目には口から栄養をとれるまでになり、ようやく生きのびられる可能性が出てきました。

そして、手術をするために、麻酔に耐えられる体力がつき、傷口の膿がすべてなくなるのを待つべく入院させていたのですが、資金不足のため点滴や目の治療をあきらめ、自宅に連れて帰っています。 先生からは手術の資金が足りなければ、手術をしないで指の切断だけして他の大きな傷(下記の②と③、写真あり)は放置して自然に治るのを待つのも一つの考え方です、と言われましたが、大きく開いた傷口が不憫でなりません。

◇必要な手術と治療の内容

- ① 右前足の指三本の切断
- ② 右後足の内股の15センチはがれた皮膚の縫合
- ③ 左の下あごからノドにかけて10センチはがれた皮膚の縫合

④ その他の傷の処置と消毒、抗生物質の投与

- 左前足にもひどく膿んだ傷
- 首に直径 1~0.5 センチの深い数個の穴
- 左上のアゴにも膿んだ傷、左目は傷で白濁
- 体中に無数のケガがあるのが触ってわかります。

⑤去勢が必要です。

⑥白血病キャリアであることが判明⇒傷がなかなか治りにくく、治療が長引くことになります。

大まかな費用 入院・検査 5 万円、手術に 5 万円=10 万円

◆治療後のこと

獣医の先生によると、シロの傷は、最近できたものではなく、これほどの深い傷を体中に負ったまま、しばらく生きてきたそうです。

このカラダでは、もう外で暮らすことは難しいため、引き取り先を探してあげたいところですが、白血病と断指、毛がはえなくて傷がむき出しになるであろう二つの大きな傷口、片目の傷といった身体的ハンデを負い、長期的に回復が見込めないこの子を引き取ってくれる方は望めないと思います、我が家に家族として引き取る決心をしました。

しかしながら、我が家にはすでに、3.11 の被災猫、飼育放棄、遺棄、など辛い経験や傷、病気をもった 2 歳から 13 歳までの 8 匹の保護猫がいます。

新たにシロを迎えるにあたり、先住のこの猫たちに白血病予防のための 6 種のワクチン(1 回 5000 円)をうつ必要があります。

受け入れのためのワクチン費用 8 匹×5000 円= 40,000 円

これまで細々と個人で保護活動をしてきましたが、シロを救うのに 15万円(食費等のお世話の費用のぞく)ほどが必要になり、我が家の力だけではシロの治療を続けることができません。

シロを助けるためには、シロを思っていただけの方のお力もお借りするしかない! と思い、今回募金のご協力をお願いをすることにしました。

傷の写真



2月27日撮影

◆募金と連絡先をいただいた方には、メールや郵送・ブログでシロの経過報告、サンクスカードなど送ります。

振込先 三井住友銀行 普通 122 0682286 タメノジュンコ

